

高知で学ぶ 東ティモール地方農業行政官

2019年12月16日～18日

持続可能な流域管理の取り組みを視察

JICAは2016年8月から2020年8月までの期間、東ティモール国と「持続可能な天然資源管理能力向上プロジェクトフェーズⅡ」を進めています。同国では現在、人口増による新規開墾、焼畑耕作、薪炭材の採取、その他無秩序な土地利用変化がもたらす森林の減少・劣化を避けるべく、



東ティモールでの活動の様子(当機構公式ホームページより)

コミュニティが森林資源を含む天然資源を持続的に管理していくための仕組みづくりが求められています。JICAは、こうした仕組みを普及させるため関係機関の能力強化を支援しているところです。

今回の研修は同プロジェクトの一環として、同国の地方農業行政官が日本での取り組み

を実際に見て学ぶことにより、課題克服の一助となるよう企画しました。

研修員として来県するのは、首都ディリに隣接するアイレウ県農業水産省局長を筆頭に普及員コーディネーター、コーヒー・産業作物・農業経済オフィサー及び農業・園芸オフィサーの合計4名。

12月8日から12月21日までの日本滞在中、東京都内や神奈川県内での研修に加え、高知県高知市、梶原町、四万十町を訪問。高知県をはじめとする関係機関のご協力により、地方自治体レベルの森林・流域管理の計画・条例、産官民の連携活動に関する優良事例、山間地域の保全（土壌保全、治山、災害復旧）、アグロフォレストリーや環境保全農業といった実践的技術など持続可能な流域管理について、現場で学ぶこととなります。東ティモール研修員の目には、高知県内での取り組みがどのように映るでしょうか。

【主な研修日程】

- ・12月16日(月) 午前:高知県庁、午後:梶原町森林組合、森林現場見学(梶原町)
- ・12月17日(火) 午前:集落活動センターおちめん(梶原町)、午後:高南農業改良普及所(四万十町)
- ・12月18日(水) 午前:四万十野菜合同会社(四万十町)、午後:横田きのこ有限公司(高知市)

※取材にお越しいただける場合、事前に次の問い合わせ先までご連絡下さいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】独立行政法人国際協力機構 東京センター(JICA 東京)経済基盤開発・環境課 藤澤宜史
〒151-0066 東京都渋谷区西原 2-49-5 電話: 03-3485-7641(9:30~17:45) Email:Fujisawa.Narihito@jica.go.jp

以上